

大縮尺数値地形図データ作成実験

製品仕様書（案）

平成14年2月20日

大縮尺数値地形図データ作成実験 製品仕様書(案)

1. 取得するデータの概要

1.1 データ作成の目的

本仕様書に基づき作成する空間データは、国土交通省公共測量作業規程第4編の数値地形測量の大縮尺図式項目の一般地形・地物を対象として製品仕様書の付属図書により、空間データの作成を行う。また、本作業では、作成した調達図書類の仕様内容の適合性、空間データの品質評価手順の妥当性について検証することを目的としている。

1.2 データの地域的範囲

作成する空間データの範囲は、関東地方整備局常陸工事事務所が作成した国道6号のDMデータの範囲を含む0.5km²(茨城県那珂郡東海村二軒茶屋付近)の範囲とする。(詳細は別添付図参照)

1.3 データの時間的範囲

作成する空間データは、平成12年9月20日時点(空中写真撮影時)のものとする。

1.4 座標系

座標系及び計測単位は以下のとおりとする。

準拠する測地系：日本測地系(Tokyo Datum)

平面位置座標の種別：平面直角座標第9系

(昭和43年10月11日建設省告示第3059号)

標高の基準：東京湾平均海面高 日本水準原点を基準とする高さ

単 位：メートル(小数点以下2位)

空間座標の次元：2次元

時間の基準：日本標準時

2. 取得するデータの内容

2.1 データ項目

取得する空間データは、以下のものを対象とする。

行政区域(行政界、行政名)

地表面(道路部、鉄道敷、水面、植生等地表面をすべて面として取得)

設置物(橋梁、トンネル、建物等地表に設置された施設、構造物)

地形(等高線、標高点)

注記

基準点

詳細は別紙1(地物要件定義)参照

2.2 データ構造

データの取得形態及び付加する属性については、別紙1及び別紙2（応用スキーマ）に従う。

2.3 品質

作成する空間データの個々の品質は、別紙1及び別紙3（品質要求及び品質評価基準）に示す品質を満足するものとする。

3. 品質評価手順書

取得した各項目については、別紙3（前掲）に定める方法を参考に品質確認を行い、その結果をまとめて、品質確認報告書(様式1)を作成するものとする。

4. メタデータ

メタデータは、最新版の日本メタデータプロファイル(JMP)に基づき作成するものとする。ただし、発注者が指定したものを除く。(様式2)

5. 記録仕様

5.1 符号化仕様

データセット、メタデータは、別途指示するファイル仕様に基づき記録媒体に記録する。(別紙4符号化仕様書)

5.2 記録媒体

データセット、メタデータ等は、光磁気ディスク(640Mb)に格納する。

6. 成果品等

6.1 当製品は以下のものから構成される。

- ・データセット 一式
- ・品質評価報告書 一式
- ・メタデータ 一式
- ・製品仕様書評価報告書 一式

7. その他の事項

7.1 特殊用語の定義

用語に関しては、本仕様書に定めるものを除き、地理情報標準の用語を準用する。

7.2 参考とする資料

必要に応じて、別紙5（貸与資料一覧）に記されている資料を使用、または参考とする。

